

学校の様子(3/18)

3/18(金)卒業書授与式

「午前中もってくれないかなあ・・・」と朝から空に向かってお願いしましたが、願いは叶わず・・・歓送時は雨天バージョンで、体育館までの歓送となりましたが、保護者の皆様の温かい拍手に迎えられ、体育館でも最後のよい時間を共有することができました。

保護者の皆様には感染予防対策および1名の参加にもご協力いただき、ありがとうございます。子どもたちは緊張感をもって卒業式本番に臨むことができました。コロナの影響で予定どおりとはいかず変更したことも多々ありましたが、6年間の学びの成果を感じる卒業式となりました。各家庭でのお支えがあったからこそ今日のこの日があると、職員一同心より感謝しております。ほんとうにありがとうございました。

以下、卒業式の様子を写真とともに紹介します。今年度も参加人数に制限があり、子どもたちの成長した姿を多くの方に直接みていただくことは叶いませんでした。少しでも様子を伝えることができたなら幸いです。校長式辞では次のような内容を子どもたちに伝えました。

・・・・・・・・・・・・・・・・皆さんとの出会いは四年前。みなさんが三年生のときです。

この体育館いっぱい全校で集まったことや、全校で行った大運動会など、コロナのなかった三・四年生の頃が、今ではとても懐かしいです。だからといって五・六年生の二年間は、これまでどおりではなかったものの、新たなことにもチャレンジしたかけがえのない二年間でした。皆さんと過ごしたこの四年間に心から感謝です。たくさんの感動をありがとう。

感動と言えば、今年度は、夏と冬に二つのオリンピック・パラリンピックがあるという大変貴重な年でした。校長室で約四年間共に過ごしてきたミライトワとソメイティも、今日は連れてきましたよ。

「努力は必ず報われる」という言葉があります。皆さんは信じますか？ 四回転アクセルにチャレンジしたフィギュアスケートの羽生選手がインタビューで次のように話していました。「一生懸命頑張りました。正直、これ以上ないくらい頑張ったと思います。まあ、報われない努力だったかもしれないですけど。」と。

目指していた金メダルには届かなかったので、努力は報われなかったのかもしれませんが、でも私は、たとえ失敗しても、新たな技にチャレンジする姿に、大きな感動と勇気もらいました。羽生選手はすごいと思いました。

この一年、皆さんにはチャレンジしようといっぱい話してきました。「努力は必ず報われる」とは限らないかもしれませんが、それでも、失敗を恐れず、今自分ができることに精一杯努力すること、チャレンジすることを、皆さんには大切にしてもらいたいです。

過ぎてしまった過去はもう変えられませんが、今からの一歩ずつの積み重ねが、十歩となり、百歩となり、千歩となり・・・未来に続く道となっていきます。平和で幸せな未来を、私たちみんなでつくっていきましょう。

四月からは新たな環境での中学校生活がスタートします。楽しいこともあれば苦しいこと、辛いこともたくさんあるでしょう。これから続く人生の中では、頑張ったけれど、自分の思い通りにならなくて、どうしようもなく悲しく、涙することもあっていいでしょう。

でも、そんな時、思い出してください。皆さんの周りには友達、家族、先生、地域の方々、これからもずっとあなたたちを応援する味方です。皆さんは一人ではありません。皆さんが巣立つ、ここ「市が洞小学校」は、いつまでも皆さんの母校であり、皆さんの住む街「長久手」は、皆さんのふるさとであります。失敗を恐れず、いろいろなことに、堂々とチャレンジしてくださいね。・・・・・・・・・・・・・・・・



